



2024年2月19日

各 位

会社名 岡部株式会社
代表者名 代表取締役 社長執行役員 河瀬博英
(コード番号 5959 東証プライム)
問合せ先 取締役 専務執行役員 管理部門管掌 細道 靖
(TEL. 03-3624-5119)

中期経営計画「OX-2026(okabe Transformation 2026)」の策定及び配当方針の変更について

このたび、当社グループは、2024年度から2026年度までの3ヵ年を対象とする新・中期経営計画「OX-2026(okabe Transformation 2026)」を策定いたしましたので、お知らせいたします。

2021年7月～2024年度を対象期間として策定した前・中期経営計画においては、コロナ後の外部環境想定のもと、「社会とともに持続的な成長を図る」という方向性は継続しながら、脱炭素含む SDGs 経営、DX 活用等を重点課題として取り組んでまいりました。

一方で、物価高騰や、建設業界における人手不足が深刻化するなど、計画の前提条件の変化が顕著になってまいりました。加えて、東京証券取引所から2023年3月に上場企業に対して要請された事項について、資本コストや株価を意識した経営の実現の重要性を再認識し、グループの総力を挙げて取り組んでいくことが重要となっております。

このような認識のもと、新・中期経営計画においては、「これまでの経営の延長ではなく、変わることに主眼を置き、「Transformation(変革・変化)」というネーミングを採用しました。過去の意思決定や考え方にとらわれずに、変化をいとわない3年間を目指し、戦略を強化し、持続的成長を目指してまいります。

記

1. okabe コーポレートビジョン 2040 の策定

当社グループは、「安全・安心の提供を通じて社会に貢献する」という経営理念の下、2040年の将来像、ありたい姿として、「okabe コーポレートビジョン 2040」を策定いたしました。「okabe コーポレートビジョン 2040」の実現に向け、当社グループ一人ひとりが一丸となり、業務に邁進することが、企業価値の向上及び株主共同の利益の確保につながることを確信しております。

<okabe コーポレートビジョン 2040>

これまでも、そしてこれからも
建設を支える耐震建材メーカーとして培った「創造力」×「つなぐ力」×「人の力」で
世界中の人々の生活に安全・安心を提供するグローバル・ソリューションプロバイダー

2. 中期経営計画「OX-2026(okabe Transformation 2026)」の位置づけ

当社グループは、「okabe コーポレートビジョン 2040」の実現に向け、向こう3年間で新たな収益基盤の確立に向けた“Transformation”期間として位置づけ、その具体化のため、新たに中期経営計画「OX-2026(okabe Transformation 2026)」を策定いたしました。

OX-2026 の方向性として、事業環境の変化やリスクを機会ととらえ、国内外のマテリアリティ(重要課題)にソリューションを提供し、持続的な成長を図るため、事業ポートフォリオの見直しも含めて経営リソースを集中し、サステナビリティ経営を推進してまいります。

3. OX-2026 の事業戦略の骨子

① カスタマー・セントリック

(顧客が抱える課題を最優先で解決するための体制整備と取組みの実施)

- ◆ 顧客・社会の課題を解決する製品の開発
- ◆ 新たなニーズを捉えた新製品の開発・新規事業の創出
- ◆ 国内建設に特化した商品企画室の新設
- ◆ 北米・ASEAN 市場に適したソリューションの提供による建設事業のグローバル展開加速
- ◆ 海洋事業におけるブルーカーボン事業開始

② 人的資本経営の実践と経営基盤の強化

- ◆ 人的資本を中心とした非財務 KPI のチャレンジングな設定及び目標の達成
- ◆ 海外子会社ガバナンスの改善

③ DX の更なる推進

- ◆ 基盤システムの刷新、業務プロセスの改革・変革
- ◆ DXの推進による、他社との差別化・新たな事業機会の創出・売上拡大に繋がる施策の検討・実施
- ◆ IT 戦略室の新設

4. OX-2026 の経営数値目標

	2023 年度実績	2024 年度目標	2025 年度計画	2026 年度計画
売上高	78,152 百万円	70,000 百万円	72,500 百万円	75,500 百万円
営業利益	4,082 百万円	4,100 百万円	4,700 百万円	5,000 百万円
営業利益率	5.2 %	5.9 %	6.5 %	6.6 %
当期純利益	-7,097 百万円	2,800 百万円	3,120 百万円	3,320 百万円
ROE	-11.1 %	4.7 %	5.4 %	6.0 %

5. 投資計画

2024～2026年の間にM&A含む戦略投資や人的資本投資のほか、DX関連・脱炭素対応を中心に3ヵ年で合計210億円の投資を実施する。

6. 配当方針の変更

当社はこれまで、安定的な配当を継続することを基本とし、連結業績を考慮し、併せて企業体質の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実などを勘案して剰余金の配当を決定する方針を採用してまいりました。今後はその基本的な考え方は維持しながらも、当社の持続的成長と株主の皆様への長期的な利益を一層重視し、配当額の安定性を高めるため、自己資本配当率(DOE)に留意し、中長期的に水準を引き上げていくことを目指すことといたしました。

配当水準は、経営環境及び今後の事業展開等を総合的に勘案し、配当性向30%以上を目安として、自己資本配当率(DOE)に留意した中長期に渡る安定的な配当を維持し、株主の皆様への利益還元に積極的な取組みを続けてまいります。

なお、自己株式の取得につきましては、方針を変更せず、今後も、株価の水準と機動的な資本政策遂行の必要性、財務体質への影響等を考慮したうえで、総合的に判断して、適宜実行してまいります。

変更前	<p>当社は、株主の皆様への利益還元を充実させるため、配当性向30%以上を目安として、安定的な配当を継続することを基本とし、連結業績を考慮し、併せて企業体質の強化及び将来の事業展開に備えるための内部留保の充実などを総合的に勘案して剰余金の配当を決定する方針を採用しております。</p> <p>なお、当社の剰余金の配当は、中間配当及び期末配当の年2回を基本的な方針としております。</p>
変更後	<p><u>当社は、株主の皆様への利益還元を経営の重要課題と位置づけ、資本効率の重要性を認識するとともに、財務体質の健全性を維持した上で、業績に応じた利益配分を行うことを基本とし、配当性向30%以上を目安として、併せて、自己資本配当率(DOE)に留意し、持続的な成長の実現等により配当水準の安定的な向上を目指すことを基本方針としております。</u></p> <p>なお、当社の剰余金の配当は、中間配当及び期末配当の年2回を基本的な方針としております。</p>

新・中期経営計画「OX-2026(okabe Transformation 2026)」の内容の詳細につきましては、添付資料「新・中期経営計画「OX-2026(okabe Transformation 2026)」」をご参照ください。

以上



新・中期経営計画

OX-2026

okabe Transformation 2026

岡部株式会社（証券コード:5959）

2024年2月19日

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする為替レートの変動などが含まれます。

INDEX

01 ビジョン

- コーポレートビジョン
- ビジョンに込めた想い
- マテリアリティ

02 前中計の振り返り

- 業績(結果)

03 OX-2026の概要

- 外部環境の認識
- 新中計の位置づけ
- 事業戦略の骨子
- 財務戦略の基本方針
- 経営数値目標

04 事業戦略

- 国内建設
- 海外建設
- セグメント別業績目標
- 人的資本経営の実践

05 企業価値向上戦略

- 現状分析・要因分析
- PBR1倍超の達成に向けて
- 投資計画
- 株主還元指標の追加
- ESG目標
- 主なKPIの中期目標

okabe コーポレートビジョン 2040

経営理念

安全・安心の提供を通じて社会に貢献する

okabe コーポレートビジョン 2040

これまでも、そしてこれからも
建設を支える耐震建材メーカーとして培った「**創造力**」×「**つなぐ力**」×「**人の力**」で
世界中の人々の生活に安全・安心を提供するグローバル・ソリューションプロバイダー

経営戦略

新・中期経営計画 『**OX-2026** (okabe Transformation 2026)』

ビジョンに込めた想い

これまでも、
そしてこれからも
建設を支える耐震建材
メーカーとして培った
「**創造力**」
×
「**つなぐ力**」
×
「**人の力**」で
世界中の人々の生活に
安全・安心を提供する
グローバル・ソリューション
プロバイダー

当社は、創業以来100年以上にわたり、世の中の流れとともに、大切にすべきもの、変化すべきものを取捨選択してきました。

大切にしてきたことは、**創造力**。

創造的な技術力により、建物そして人々の安全・安心を支える会社でありたいと考えています。また、建設工事の自動化やゼロエミッションなどに、新しいテクノロジーを活用して創造的なソリューションを生み出し続けられる会社を目指します。

そして、**つなぐ力**。

これは、お客様、株主・投資家様、協力会社・サプライヤー様、社員、地域社会とのコミュニケーションで生まれる人とつながる力、建設現場に使われる重要な部材をつなげて安全性を高める力です。

そして、**人の力**。

社是にも掲げる、「人材の育成に努力し、企業の永遠の発展を期すること」

「社員にとってその一生を託して、悔いることのない職場たること」

すべての基盤は人の力にあり、2040年も変わらず大事にしていまいります。

これら3つの力の根底にあるものは、経営理念にある、「安全・安心の提供を通じて社会に貢献する」という想いです。様々な外部環境の変化が想定されますが、地球環境と人類にとって良い方向に変わっていくよう、地球の一員として持続可能な社会に貢献できる会社でありたいという想いが込められています。

okabeグループのマテリアリティ

分類	活動テーマ	マテリアリティの内容		貢献するSDGsゴール
	安全・安心で 持続可能な社会づくり	1	地震、豪雨等の災害の甚大化	  
		2	建設事業の環境変化	
		3	人口減、高齢化社会	
		4	人とのつながり・人的資本経営	
	地球環境への配慮と 資源の保全	5	気候変動、地球温暖化	 
		6	環境保全、脱炭素、資源循環の実現	
		7	海洋資源の維持	
	経営の健全性・ 透明性の向上	8	人とのつながり・人的資本経営	

前中計の業績(結果)

- 売上・利益等は2022年度まで概ね計画を上回って推移したものの、2023年度は大幅な減益。

	2021年度実績	2022年度実績	2023年度実績
売上高	64,829 百万円	76,854 百万円	78,152 百万円
営業利益	4,334 百万円	5,271 百万円	4,082 百万円
経常利益	4,726 百万円	5,471 百万円	4,303 百万円
経常利益率	7.3 %	7.1 %	5.5 %
当期純利益	2,627 百万円	3,848 百万円	-7,097 百万円
ROE	4.4 %	6.0 %	-11.1 %

- 2022～2024年の3年間の計画に対し、設備投資は計画を下回るも、戦略投資は上回って着地。

	3カ年の投資計画	2022年度実績	2023年度実績	進捗率(2年経過時点)
設備投資	110 億円	8 億円	18 億円	26 億円 (24.3 %)
戦略投資(M&A等)	100 億円	77 億円	2 億円	79 億円 (79.1 %)
合計	210 億円	85 億円	20 億円	105 億円 (50.4 %)

外部環境の認識

社会インフラ

- 国内における災害の激甚化、インフラの老朽化に伴う公共投資の増加
- 北米の建設市場をけん引するインフラ・プロジェクトの存在
- ASEANなどのインフラ整備の遅れに伴う需要の高まり
- カーボンニュートラルの実現に向けた設備投資の増加

少子高齢化 DX

- 人口減少、建設労働人口減少、物価上昇の裾野の広がり、少子高齢化の加速
- 工期短縮に貢献する省力化、省人化需要の高まり
- 自動化や無人化など、デジタル化需要の高まりやDXによる建設産業の変化

市場要請

- 資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応（PBR1倍超の早期達成）

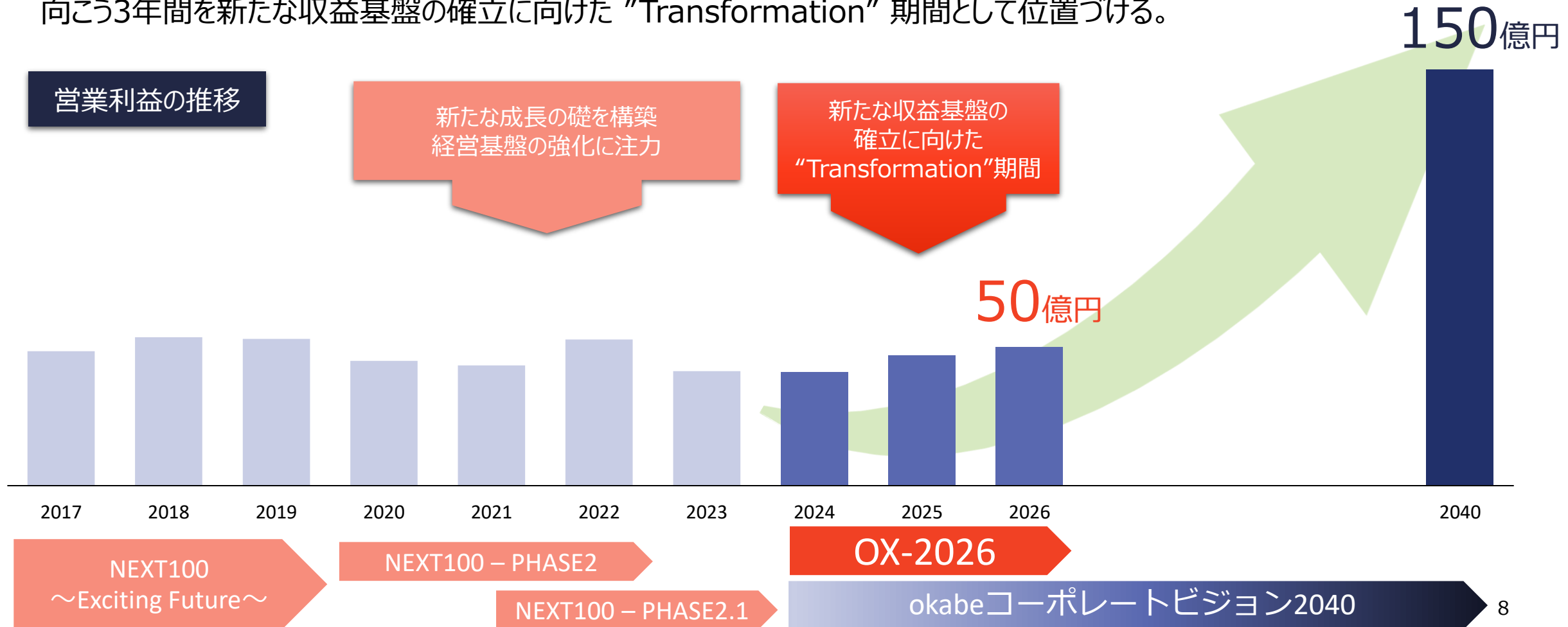
多様化社会

- 働き方・学び方・ライフスタイルの多様化、ダイバーシティ尊重

新・中期経営計画の位置づけ

okabeコーポレートビジョン2040の実現に向けて

企業価値の持続的成長を目指し、外部環境の変化に機敏に対応しながら、利益水準を維持するとともに、向こう3年間で新たな収益基盤の確立に向けた“Transformation”期間として位置づける。



BUSINESS

建設関連製品
事業

多角化
事業

STRATEGY

人的資本経営の実践
経営基盤の強化

カスタマー・
セントリック

DXの
更なる推進

VISION

これまででも、そしてこれからも

建設を支える耐震建材メーカーとして培った

「創造力」×「つなぐ力」×「人の力」で

世界中の人々の生活に安全・安心を提供する

グローバル・ソリューションプロバイダー

重点的に取り組むSDGs

8

働きがいも
経済成長も



9

産業と技術革新の
基盤をつくらう



11

住み続けられる
まちづくりを



12

つくる責任
つかう責任



14

海の豊かさを
守ろう



事業戦略の骨子

カスタマー・セントリック

(顧客が抱える課題を最優先で解決するための体制整備と取組みの実施)

- ◆ 顧客・社会の課題を解決する製品の開発
- ◆ 新たなニーズを捉えた新製品の開発・新規事業の創出
- ◆ 国内建設に特化した商品企画室の新設
- ◆ 北米・ASEAN市場に適したソリューションの提供による建設事業のグローバル展開加速
- ◆ 海洋事業におけるブルーカーボン事業開始

DXの更なる推進

- ◆ 基幹システムの刷新、業務プロセスの改革・変革
- ◆ DXの推進による、他社との差別化・新たな事業機会の創出・売上拡大に繋がる施策の検討・実施
- ◆ IT戦略室の新設

サステナビリティ経営の推進(進化)

国内外のマテリアリティ(重要課題)にソリューションを提供し、持続的な成長を図るため、事業ポートフォリオの見直しも含めて経営リソースを集中する。

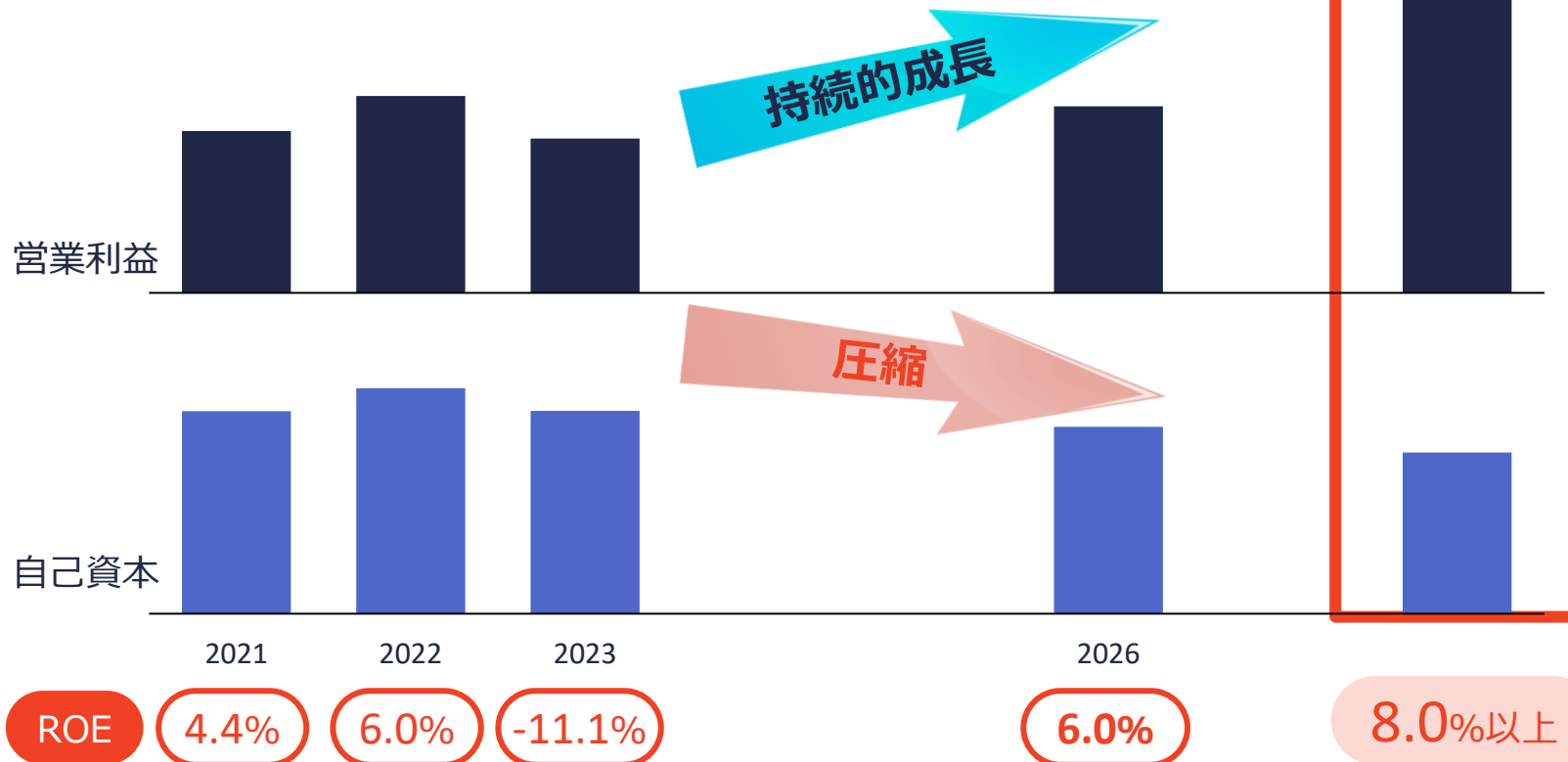
人的資本経営の実践と経営基盤の強化

- ◆ 人的資本を中心とした非財務KPIのチャレンジングな設定及び目標の達成
- ◆ 海外子会社ガバナンスの改善

財務戦略の基本方針

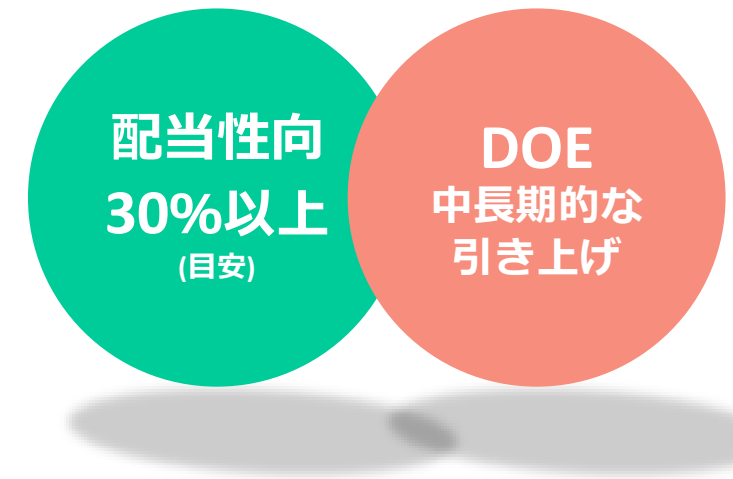
将来的な収益・資本構造

- 資本コストを上回るROE(8%以上)の早期実現を目指す。
- 資本収益性のさらなる向上を目指し、事業戦略を通じた営業利益目標をベースに自己資本の圧縮(自己資本比率50%程度)を進める。



株主還元方針

- 株主還元の主要指標として、配当額の安定性を高めるため、DOE(自己資本配当率)にも留意し、中長期的に水準を引き上げていくことを目指す。



OX-2026の経営数値目標

連結業績・資本収益性

	2022年度実績	2023年度実績	2024年度目標	2025年度計画	2026年度計画
売上高	76,854 百万円	78,152 百万円	70,000 百万円	72,500 百万円	75,500 百万円
営業利益	5,271 百万円	4,082 百万円	4,100 百万円	4,700 百万円	5,000 百万円
営業利益率	6.9 %	5.2 %	5.9 %	6.5 %	6.6 %
当期純利益	3,848 百万円	-7,097 百万円	2,800 百万円	3,120 百万円	3,320 百万円
ROE	6.0 %	-11.1 %	4.7 %	5.4 %	6.0 %

株主還元

	2022年度実績	2023年度実績	2024年度目標	2025年度計画	2026年度計画
配当性向	29.5 %	—	49.5 %	検討中	
DOE	1.8 %	1.8 %	2.3 %	検討中	

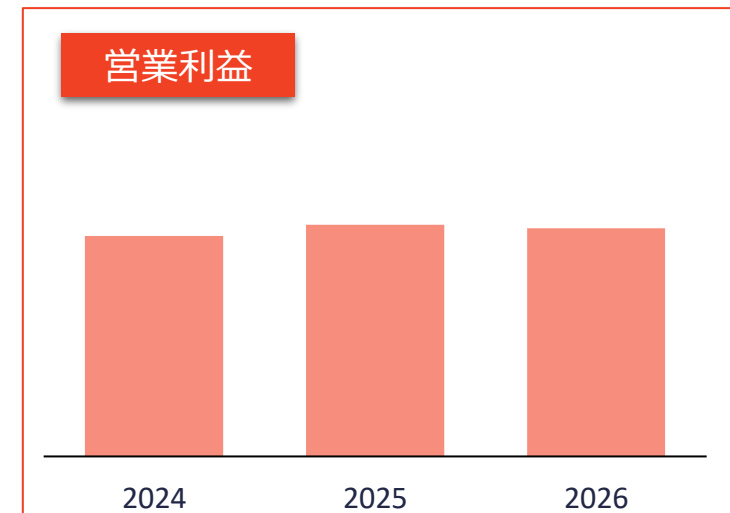
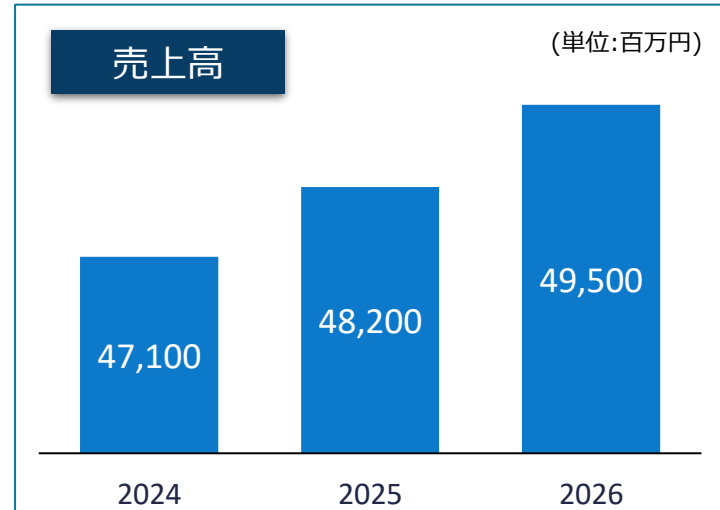
国内建設関連製品事業

カスタマー・セントリック

- ◆ 営業体制の刷新・強化、組織的なワンストップ営業の確立
- ◆ 顧客ニーズに的確に迅速に応える体制の再構築
- ◆ 顧客・社会の課題解決を最優先とした新製品・新サービスの提供

DXの更なる推進

- ◆ DXの推進による、顧客への新たな付加価値の提供
- ◆ 業務プロセスの改善、生産性向上



海外建設関連製品事業

カスタマー・セントリック



アメリカ

- ◆ 顧客ニーズに迅速に応える物流・生産体制の強化
- ◆ 新商品・新サービスの提供



インドネシア

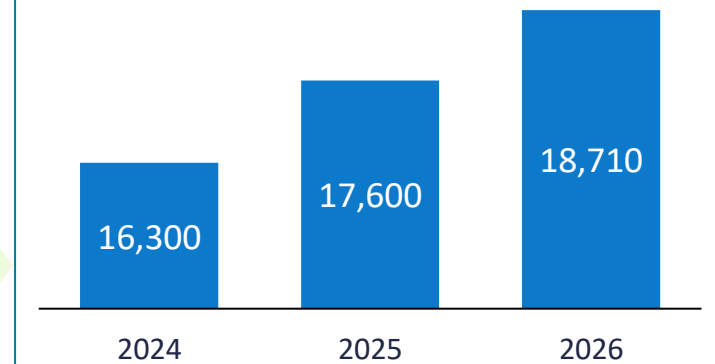
- ◆ 成長する顧客ニーズの的確な把握によるマーケティングの実施
- ◆ 新たに立ち上げた建材販売店舗“OKABE GALLERY”の事業基盤の構築と新たな挑戦

人的資本経営の実践

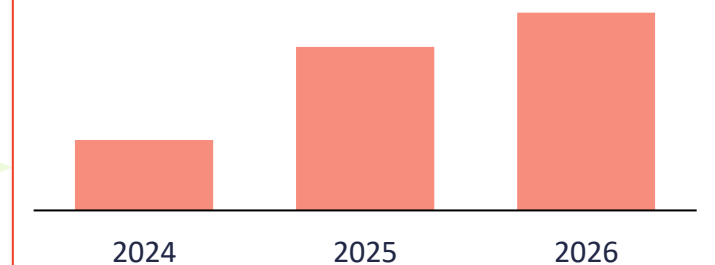
- ◆ 海外人財の育成・獲得、人財プールの形成

売上高

(単位:百万円)



営業利益



セグメント別業績目標

(単位:百万円)

		2024年度目標	2025年度計画	2026年度計画
売上高		70,000	72,500	75,500
建設関連製品事業		63,400	65,800	68,210
国内	- 仮設・型枠製品	7,300	7,500	7,600
	- 土木製品	7,500	7,800	8,000
	- 構造機材製品	21,000	21,500	22,300
	- 建材商品	11,300	11,400	11,600
	計	47,100	48,200	49,500
海外	- 建材製商品	16,300	17,600	18,710
	計	16,300	17,600	18,710
多角化事業		6,600	6,700	7,290
営業利益		4,100	4,700	5,000
建設関連製品事業		3,530	4,080	4,240
多角化事業		570	620	760
営業利益率		5.9%	6.5%	6.6%
経常利益		4,400	4,800	5,100
当期純利益		2,800	3,120	3,320
ROE		4.7%	5.4%	6.0%

人的資本経営の実践

経営理念

安全・安心の提供を通じて社会に貢献する

okabe コーポレートビジョン 2040

これまでも、そしてこれからも
建設を支える耐震建材メーカーとして培った「**創造力**」×「**つなぐ力**」×「**人の力**」で
世界中の人々の生活に安全・安心を提供するグローバル・ソリューションプロバイダー

岡部グループで働く多様な人財 = 新たな価値創造の源泉

人財確保

エンゲージメント向上

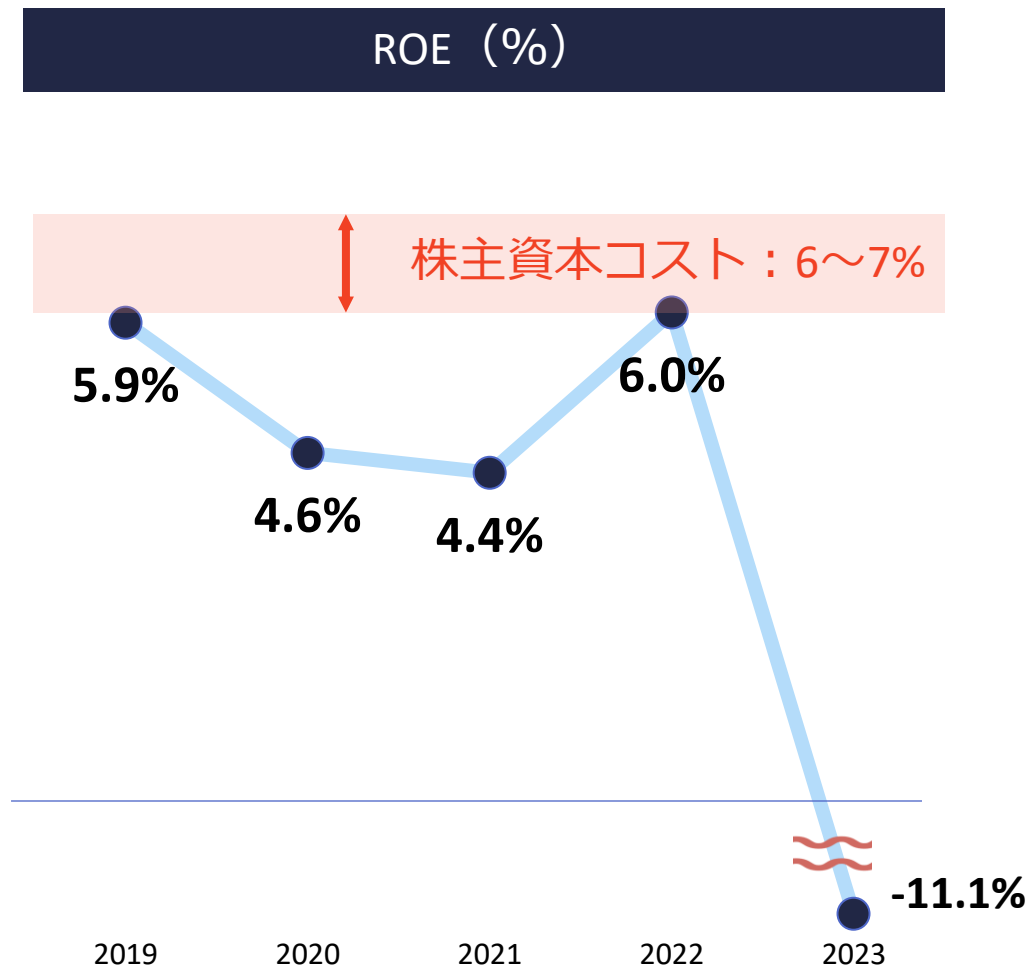
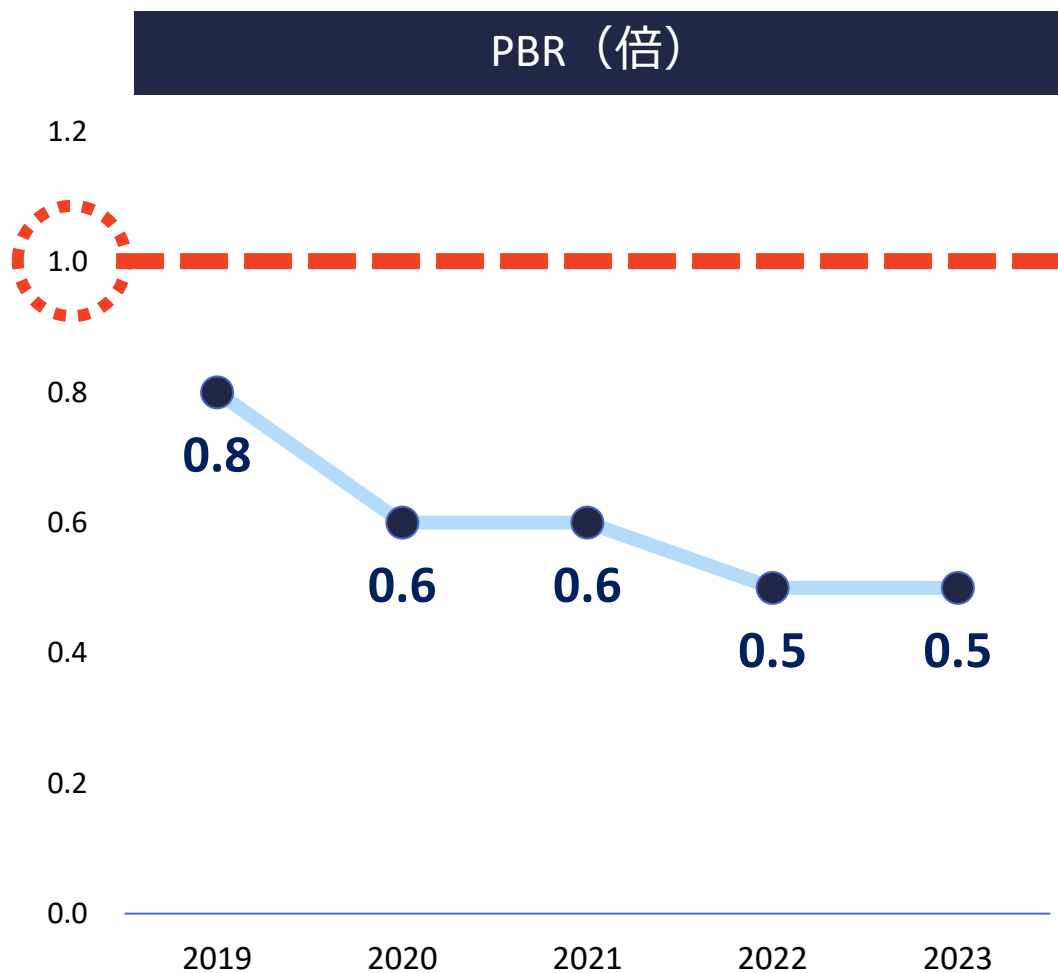
成長環境・
機会の提供

健康経営

人財への積極的な投資を通じて、企業価値を高めていく

現状分析

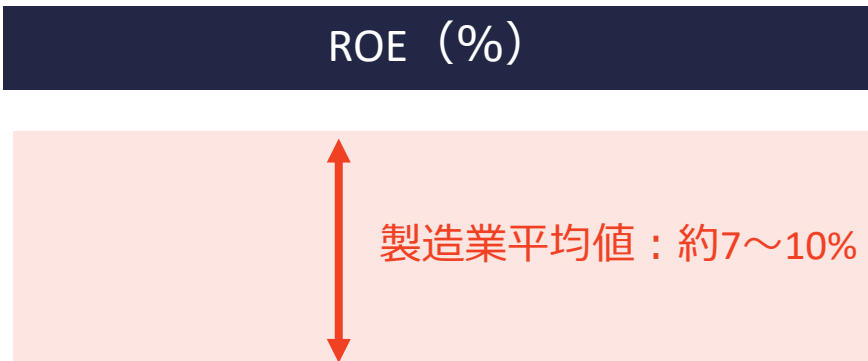
PBR1倍割れが継続、現在のROE水準は市場の求める株主資本コストの水準に達していない



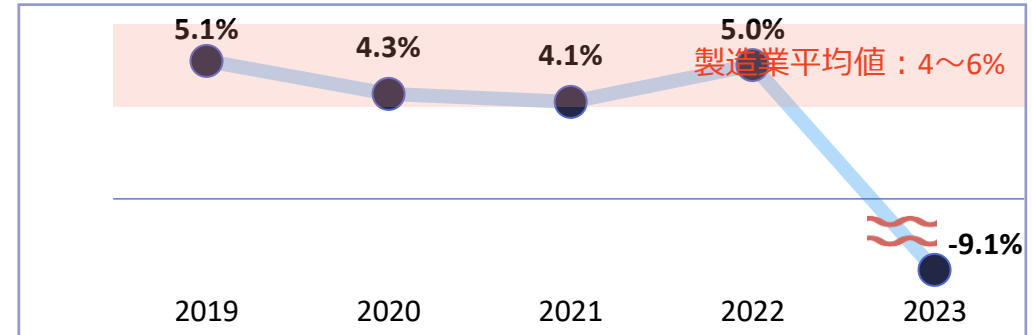
ROE低迷の要因分析（デュポン分析）

収益性の向上とバランスシートの効率化を通し、早期に株主資本コストを上回るROEの実現を目指す

対策優先度

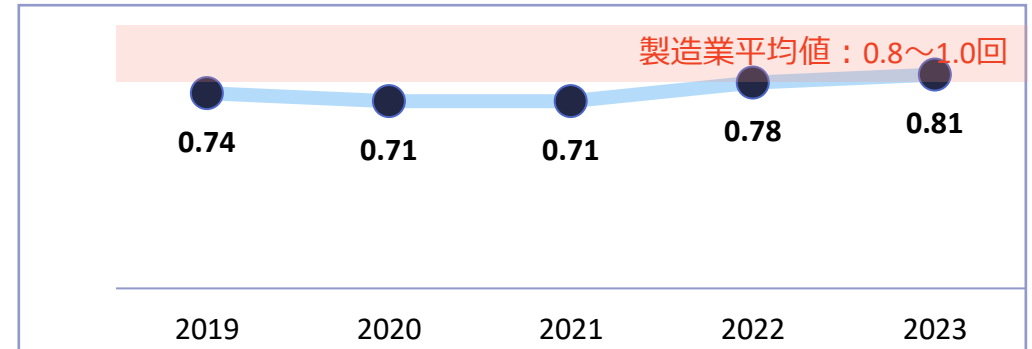


当期純利益率%



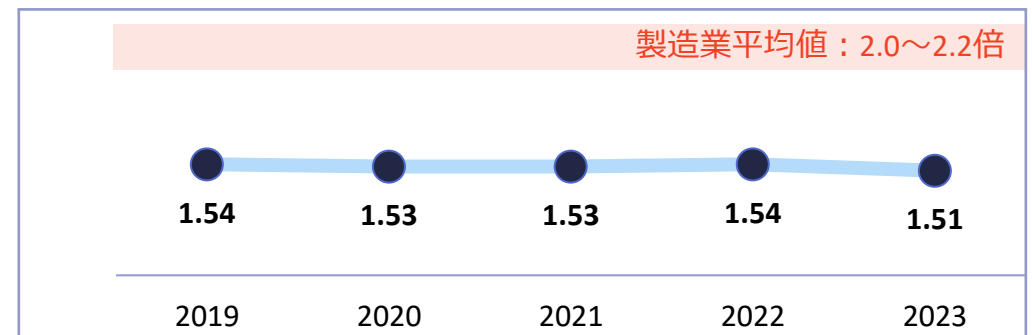
高

総資産回転率回



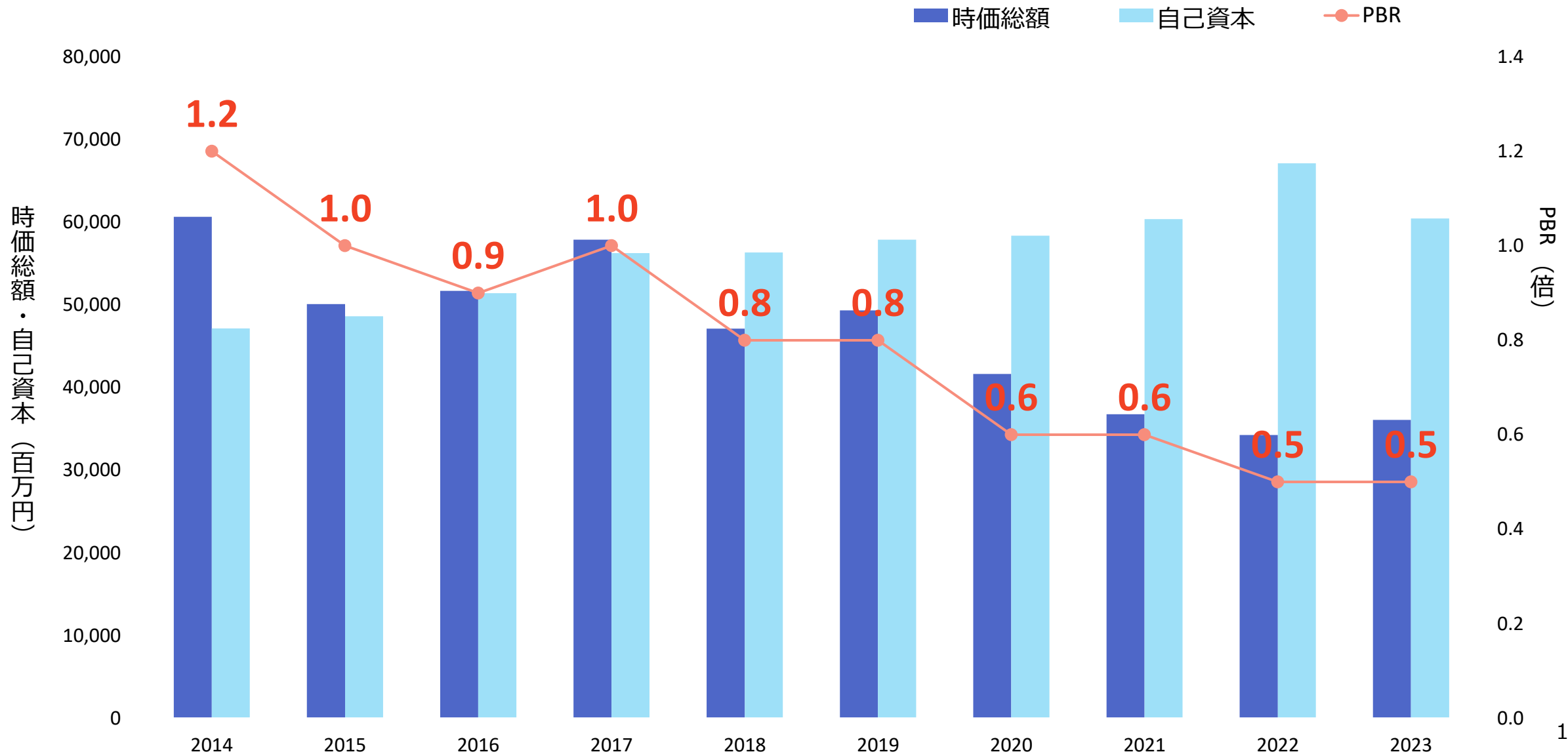
中

財務レバレッジ倍

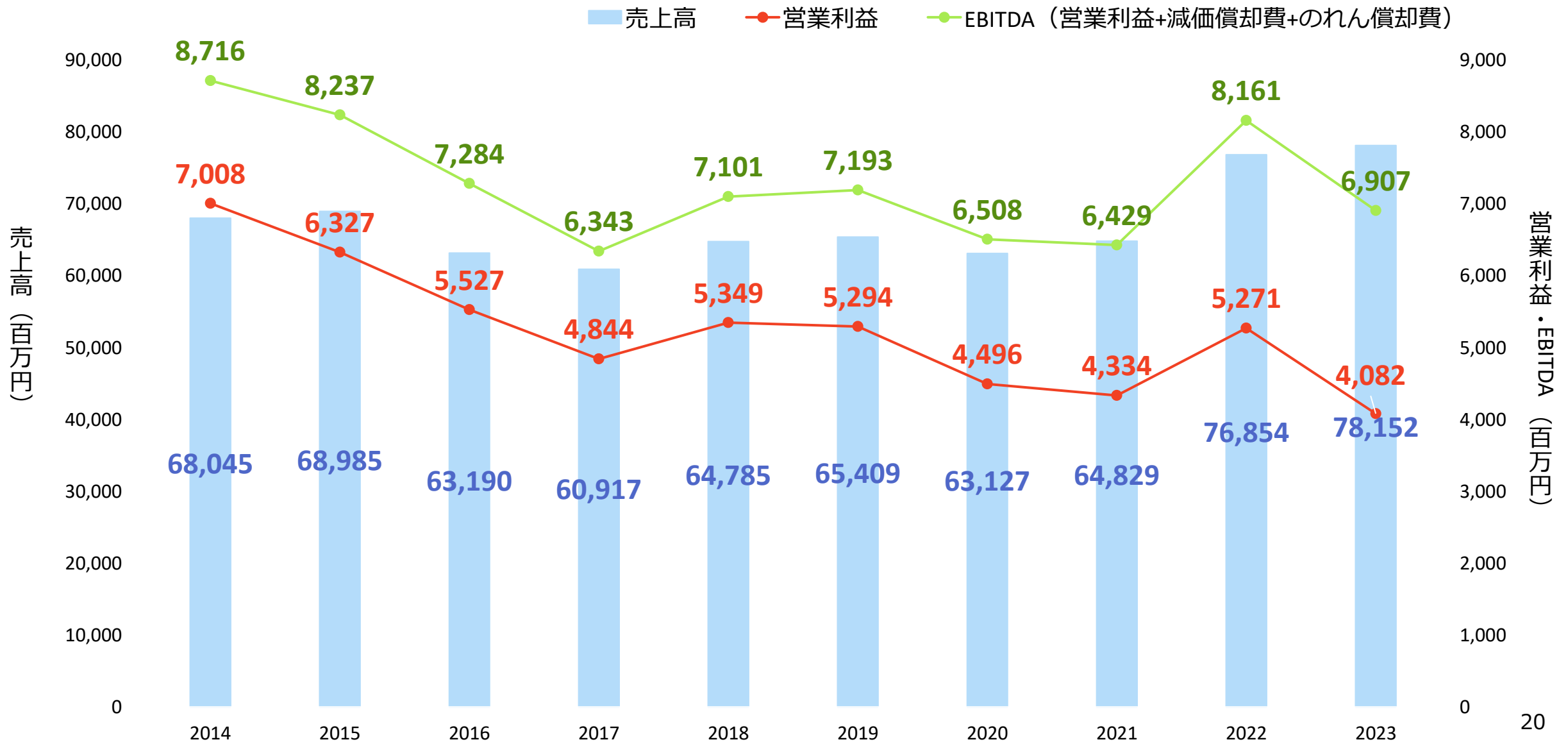


高

PBR・時価総額・自己資本推移



売上高・営業利益・EBITDA推移



PBR1倍超の達成に向けて

資本コスト経営

- ROE8%の早期達成
- 事業ポートフォリオの最適化
- 長期戦略の提示
- ESG関連情報の積極的な開示



成長投資

- 設備投資
- M&A
- R&D
- 米国での成長投資

株主還元の強化

- 配当性向30%以上
- DOE指標の導入
- 自己株式取得

財務健全性

投資計画

okabeコーポレートビジョン2040の実現を目指し、2024～2026年の間に戦略投資や人的資本投資のほか、DX関連・脱炭素対応を中心に3カ年で合計210億円の投資を実施する。

設備投資

約 **100** 億円

- 生産設備の更新
 - 脱炭素投資
 - DX投資
- 等

戦略投資

M&A

約 **100** 億円

- 国内・海外問わず、建設関連製品事業領域・サステナビリティ経営の推進に資する事業領域を中心にM&Aを実施

人的資本投資

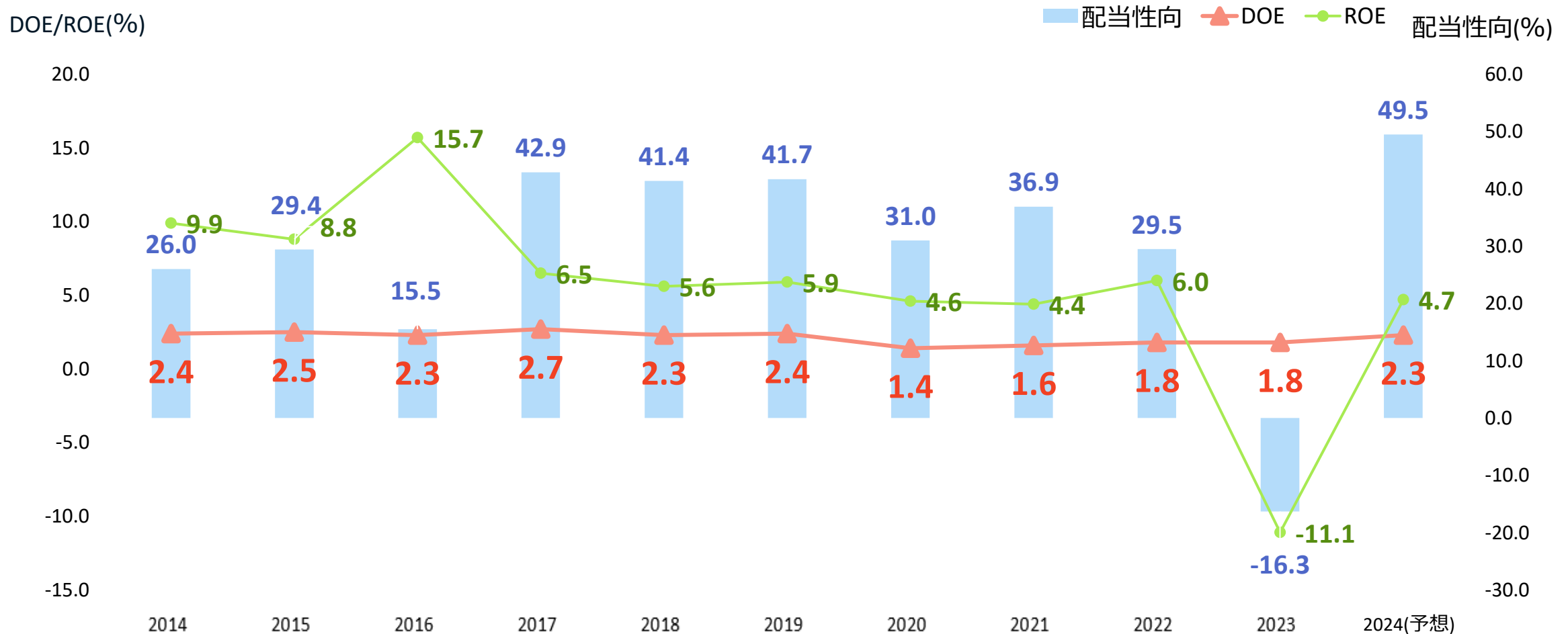
約 **10** 億円

- 人件費アップ
(年間5～7%)
 - 研修費用
- 等

3カ年合計投資額 **210** 億円

株主還元指標の追加

株主還元の主要指標として、配当性向30%目標に加え、配当額の安定性を高めるため、DOE(自己資本配当率)にも留意し、中長期的に水準を引き上げていくことを目指す。



ESG目標

E

環境

- 環境にやさしい製品・工法の開発などを通じた温室効果ガスの更なる削減
- 生産プロセスの見直しなどによる環境負荷の低減
- ブルーカーボン事業への参入によるカーボンニュートラルの取組み強化

S

社会

- 新製品・工法の開発による地震・豪雨等の激甚化災害への対応
- ダイバーシティ&インクルージョン、健康経営の推進による人的資本経営の実現
- 教育CSR活動や地域コミュニティへの参画を通じた地域貢献

G

ガバナンス

- 実効性の高いコーポレート・ガバナンス構築による、変化に即応できる体制の確立
- 海外子会社も含めたグループ全体でのリスクマネジメントの更なる強化
- 公正かつ透明性の高い企業活動の遂行によるコンプライアンスの実践

主なKPIの中期目標

マテリアリティ	主なKPI	単位	2023年度実績	2026年度目標	貢献するSDGsゴール
1 地震、豪雨等の災害の甚大化 2 建設事業の環境変化 3 人口減、高齢化社会	耐震等に貢献する製品（構造機材製品）の売上高	百万円	11,555	12,400	
	法面補強等に貢献する製品（土木製品）の売上高	百万円	3,390	3,600	
	新製品発売数	件	9	年間10	
4 人とのつながり・人的資本経営	共同研究する大学（学識者）の数	校	契約関係 5 協力関係 6	10	
	女性管理職比率	%	4.7	10	
	育児休暇取得従業員比率	%	41.7	100	
	障がいのある従業員数	名	11	16	
	IT関連保有資格数	個	95	600	
社会・地域貢献活動への投資額	百万円	26	26		
5 気候変動、地球温暖化 6 環境保全、脱炭素、資源循環の実現 7 海洋資源の維持	CO ₂ 排出量（Scope1+2）合計	t-CO ₂ e	集計中	前年比-9.5%以上	
	CO ₂ 排出量（Scope3）合計	t-CO ₂ e	集計中	前年比-4.0%以上	
	CO ₂ 吸収固定に貢献する海藻種苗の出荷数	本	185	2,000	
	総廃棄物リサイクル量	トン	2,749	3,396 (前年比+5%)	
	使用済みPコンのリサイクル数量	万个	97	300	
8 ガバナンスの強化	社外取締役比率	%	41.7	1/3以上	
	女性取締役比率	%	8.3	16.7	
	監査等委員会の社外取締役比率	%	75.0	過半数以上	

※KPIの詳細につきましては、財務・非財務データ集として当社ウェブサイトの[サステナビリティページ](#)に掲載しております。

